

Censys の Attack Surface Management (ASM) とは？

Censys ASM は、インターネットに公開されているリソース全体をディスカバリーし、インベントリを作成し、監視します。外部の攻撃対象はリスク評価され、それぞれはお客様にとって重要なものに優先順位付けされます。毎日、毎時間、またはオンデマンドで、すべてのそれらのリソースの攻撃者の視点がリフレッシュされ、ほぼリアルタイムの可視性とコンテキストが提供されるため、サイバーセキュリティ状況を管理および伝達することができます。

KEY USE CASES



継続的な攻撃対象のディスカバリー

外部の攻撃対象が常に最新であることを確認します。すべてがどこにあり、攻撃者の視点からどのように見えるかを把握します。外部攻撃サーフェスの発見とインベントリは、あらゆるセキュリティ・プログラムの基礎となる要素です。



クラウド上に公開されたリソースの管理

3大クラウドプロバイダーにネイティブに統合された唯一の ASM プラットフォームにより、攻撃対象からシャドウクラウドを排除します。すべてのプロバイダーにわたるクラウドインベントリを毎時更新で簡単に管理し、許可されたクラウドアカウント以外に何が存在するかを把握できます。



公開されたリソースのリスクを管理

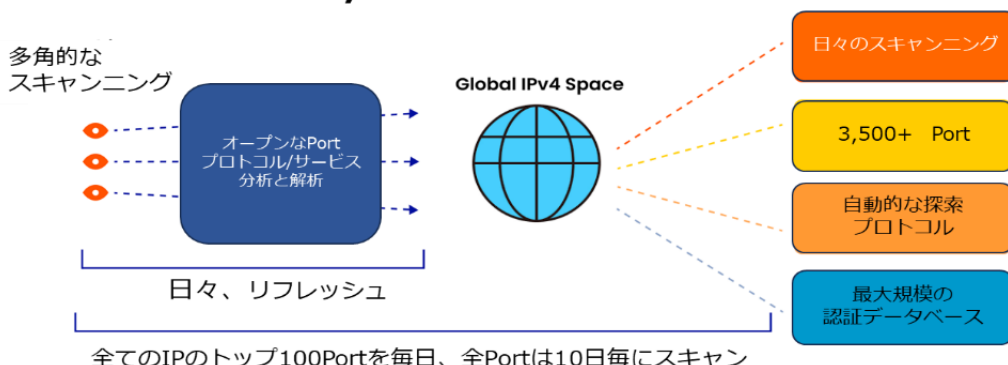
深いコンテキストと、影響度、悪用可能性、可能性に基づく重大度評価を提供する設定可能なリスクエンジンを使用して、すべての公開されたリソースの優先順位を決定します。攻撃者の視点から組織の公開されたリソースを把握することで、セキュリティ・プログラムが最も緊急なニーズに最初に対処できるようになります。



小会社化や買収、合併

最近になって継承されたものであれ、事業部門やチームが独立して機能するようになったものであれ、バラバラの環境は、それらを保護するセキュリティ・チームに負担をかけます。ビジネスのあらゆる部分の外部アタックサーフェスを一元管理したり、ワークスペースを個別に作成して個別に処理したりできます。当社の自動オンボーディング機能は、20 分以内に新しいアタックサーフェスを構築し、新しい企業を買収する際にチームが優位に立てるよう支援します。

Censysサーチの仕組み



ASM の違い



手 法	データ	ユーザーへの意義	結果
Data Oriented	Global Internet Scanning	<ul style="list-style-type: none">● 精度 (少ない誤検知)● 鮮度 (日々のアップデート)● 情報 (オーナー、属性)● 攻撃対象のコントロール	<ul style="list-style-type: none">● 運用効率化● TCO削減● リスク低減

他の ASM

手 法	データ	ユーザーへの意義	結果
Vulnerability Oriented	脆弱性診断 Pen Test	<ul style="list-style-type: none">● 低い精度 (無駄な検知)● 古くて不完全なデータ (週次、月次のアップデート)● 情報不足 (オーナー、属性)● ベンダーに依存	<ul style="list-style-type: none">● 高い運用コスト● 低い信頼性● 盲点

機能と特長

ディスカバリーパス

Censys が各アセットが攻撃対象領域に属すると考える理由を詳細に表示します。資産の所有者、Censys の開始地点、およびその過程で行われた接続(ピボット)を理解します。

ワークスペース

子会社、買収対象、または事業を独立して管理するために、異なる環境を分離する。

リスクの優先順位付け

グローバルに、または資産ごとに、リスクの深刻度レベルをカスタマイズできる。

インタラクティブなレポート

攻撃対象領域のサイズ、構成、リスクに関する説明的な図表やメトリクスを使用して、セキュリティの状態をビジネスの他の部門に伝達します。

API 統合

チケットシステム、脆弱性スキャナ、SIEM、SOAR、または特定の API エンドポイントへのネイティブ統合により、セキュリティ・エコシステム全体で攻撃対象領域のデータを活用できます。

Censys Academy

Censys ASM プラットフォームにチームを導入するためのセルフガイドのトレーニングコース

Users



USA CISA



国土保障省



国防情報局



国防総省



NATO 軍



日本代理店: 株式会社レインフォレスト 東京都杉並区成田西 2-8-10

<https://www.rainforest-cs.jp/> info@rainforest.tokyo